



第二中だより

No. 601

生徒数 524 名

令和 5 年 5 月 1 日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢 1 番 4 号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「輝く季節—5月」

校長 橋本 真

学校が始まって早くも一か月が経とうとしています。181名の1年生は、少しずつ学校に慣れて、楽しく学校生活を送っている様子がうかがえます。2・3年生も昨年より一層充実している様子がうかがえます。令和5年度が良い状況でスタートできたことは嬉しく思います。

「元気 やる気 根気」

「元気 やる気 根気」の言葉は、全てのもの事にあてはまることです。元気の源は、食事（3度の食事）と睡眠を取ること。やる気は、やることを決め、目標をもつこと。根気は、強い意志をもつことです。そこで1年生には、すでに始まった日々の各教科の授業について触れてみたいと思います。「日々の授業」は、学校の教育活動の根幹にあたります。生徒の皆さんは、先生の1問1句を聞き逃さないよう集中して授業を受けます。先生は、膨大な下調べをして授業に臨みます。教室では、生徒と先生の真剣勝負の場です。

最初は、「単に50分間勉強する」でもいいですが、「やらされている」は、長続きしません。

「自分のためにやる」そのためには、「内容の理解を深めるための、ノートを使い方の工夫」など、一人ひとりのやる気が、根気に繋がっていきます。

「元気 やる気 根気」は、やがて「主体的な自律」に成長していきます。この「自律」の「律」の部分は、自立ではありません。自立は自分でいろいろなことができるようになること、自律することは自分でルールを決めて、そのとおりに実行することです。自立よりも自律の方がより高い目標を目指すことになります。日々の授

業は、「主体的な自律」を磨く良い機会となります。

夢を叶えるために

4月の段階で、すでにくじけてしまっている人はいませんか。くじけてしまった人は、まだ遅くはありません。今日からでも再スタートを切ってください。

昨年の11月、3年生の受験に向けた面接練習で、ある生徒の志望理由に私が感心したものがありません。紹介します。

「学校は夢をかなえる道場であると思います。自分の夢を叶えるには、学校でいろんなことを学ばなければならないし、いろんな体験もしなければいけないと思います。道は自分で創ったり、選択したりするものです。だれかに「やれ」と言われてからやるみたいな、つまらない人生は歩みたくありません。だから、もっと努力したいと思います。好きなことをやりたいし、夢を叶えたいです。そのためにはそれをする力や知識を身に付けなければなりません。この私の思いを現実にしてくれる高校と確信し、志望しました。」さらに「これからの限られた時間を大切にし、やろうと思ったことはすぐやる、この二つをきちんと守って、生活し、受験の準備をしていきたいと思います。」力強い志望理由でした。

『夢を叶える』ために、今やれることを自分なりに考え、決めたことを実行してほしいと思います。この先輩の言葉を皆さんへのエールとして贈ります。

